

「河川技術・流域管理分野 指定型課題」
(令和3年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
越流侵食に対する河川堤防のロバスト設計に関する技術研究開発	京都大学 肥後 陽介	A
<p><研究概要> 越流侵食に対する堤防のロバスト性（粘り強さ）を評価する手法を開発し、堤防の実際の設計・評価に実装するフレームワークを提示することを目的とする。この目的のため、以下の3項目を実施する。1) 表面流・浸透流の同時解析及び表面流による土の侵食解析を連成した、越流侵食解析手法の開発。2) 次元縮減した代替解析による降雨外力と堤防物性の不確実性の確率論的提示。3) あらゆる越流シナリオからの粘り強いシナリオの確率論的抽出による、越流に対する堤防のロバスト設計の実現。</p>		
<p><事後評価指摘事項> A評価のためコメントなし</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。
- B：一定の研究成果があった。
- C：研究成果があったとは言い難い。